

終戦後の生活

成瀬中学校3年 麻生 航平

正直、今までの自分は戦争のこともよく知らないし、関係ないと思っていました。平和作文を書こうとしたとき1つの話を思い出しました。この話をしてくれたのは自分の祖父です。

祖父はスイカが好きではありません、なぜ食べないのか不思議で最初はただの好き嫌いかと思っていました。ある夏の日に祖父から「スイカは塩をかけて食べるとおいしいよ。」と豆知識のようなことを教えてくれました。このとき、なぜスイカをおいしいと言っているのか不思議で仕方ないと思った自分はスイカを食べない理由を聞きました。

祖父は終戦した後、満足できるようなごはんを食べることができなかつたらしくスイカをあきるまで食べていたらしいです。この話を聞いた当時は、かわいそうとしか思っていませんでした、祖父の話を聞きながら、自分は1つ疑問に思いました。なぜ苦しい思いをするとわかっているのに当時の人は戦争をやめることができなかったのだろうか、そしてなぜ戦争がおきてしまったのか。調べてみると、自分たちがよければいいという自己中心的な考えや、他国への不信感、多くの人が戦争に対して無関心だったことが、戦争を止めることができなかった原因だとわかりました。当時の人たちは戦争がしたかったわけではないと思います。

でも、一度このように争い合ったり、自分たちの利益を優先したりしてしまうと後戻りできなくなってしまう。その戦争の怖さを知ることが、これからの平和への第一歩になると思いました。祖父が教えてくれたスイカの豆知識的事の背景にある、満足にごはんを食べられなかった時代の重みを知った今、いつもあたり前に食べていた食事がどれだけ貴重なものか、あらためて気づかされました。

今の自分たちが好きなものを好きなだけ食べたり、みんなと楽しく笑い合ったりできるのはあたり前ではない。自分は、平和を維持するためには対話を諦めないこと、話し合いを大切にすることが必要になってくるかと思います。祖父の世代が守りたかった日常を今度は自分たちが大切にしていきたいです。そしてこの歴史を忘れないでいたいと強く思いました。